

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2012年6月

ベサニー・ハミルトン (Bethany Hamilton)

という人を知っていますか？ ハワイ出身、今年 22 歳のプロ・サーファーです。彼女が 13 歳の時に遭遇した事故と、その後の家族や本人の奮闘について綴った映画「ソウル・サーファー」が、この 6 月から公開されています。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

思いがけない出来事

災害・事件・事故など、思いがけない出来事は、ある日突然やってきます。昨日までの「当たり前」の日常が急変し、こんな現実にはあり得ない、これが夢であったなら、と思いき、しかし目の前に突きつけられた厳しい現実には打ちのめされ、何をやる気力も失ってしまう……。昨年の大震災・津波被害・原発事故は、まさにそのようなものでした。たといそれほどまでに大規模ではなくとも、交通事故、火災、事件、病気、解雇など、有って欲しくはなかった出来事は、いつも突然わたしたちに降りかかり、心や身体を苦しめるものです。

突如襲った痛ましい出来事によって、ベサニー本人も家族も大変苦しみました。出血多量による生命の危機から脱した後も、特に父親のトーマスさんは教会に行っても賛美歌を歌ったり祈ったりできない状態にまでなりました。事故から 2 週間、気丈に元気に振舞っていたベサニー本人も、医師から「暫くはサーフィンなどできないだろう」と言われた時には大泣きました。しかし、次の聖書の言葉に支えられて、希望を見出していくことができました。



主は言われる、わたしがあなたがたに対していただいている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。

(旧約聖書 エレミヤ書 第 29 章 11 節)

映画は俳優が演じた「作りもの」ですが、内容自体はベサニーと家族が体験した実話です。現実の困難に遭遇している人にも、そうではない人にとっても、きっと励ましとなり勇気づけられる作品だと思います。一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。

本人もインターネットなどを通じて発信しています。 <http://bethanyhamilton.com/>

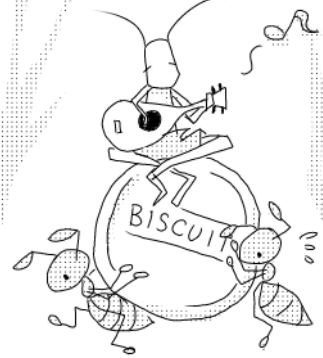
万事を益となるように

聖書には、次のような言葉も書かれています。

神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。

(新約聖書 ローマ人への手紙 第8章28節)

5月下旬には、ベサニー本人が来日し、映画のPRを兼ねてインタビューにも答えました。兄のノア・ハミルトンも、家族一人ひとりに神さまがどのように働いて下さったか、証言していました。

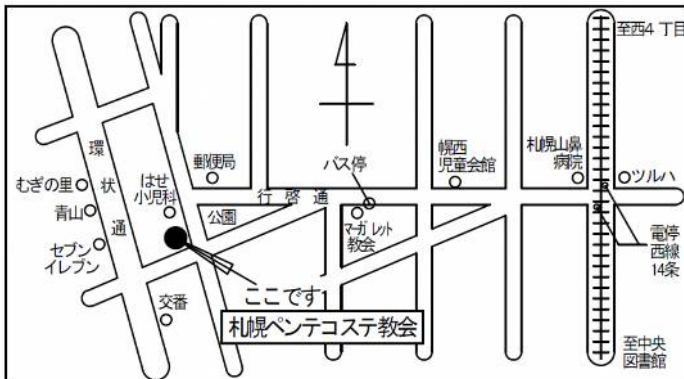


あなたが今困難に直面しているとしても、あなたが神を知り愛するようになるなら、その困難は益と変わります。ここで言う「神」とは、聖書で書かれている神で、「八百万の神」のように漠然としたものでも、「物事に大変秀でた人」のような小さな存在でもありません。天地を創造し、現に実在し、あなたの人生のすべてを「益」と変える力のある方です。あなたが今まで持っていた「神」の概念とは大きく違うことでしょう。ぜひ、聖書を読んで、神とはどういう方なのか知って下さい。教会に来て、または知り合いのクリスチャンを通じて、神さまとは、イエス・キリストとは、どういう存在なのか、尋ねてみてください。必ずや、あなたの人生を良い方向に変えてくれることでしょう。

教会の定期集会のご案内

- GP クラブ 子どものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)
- 聖日礼拝 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)
- 祈り会 神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。(毎週木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。



教会のホームページ

<http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西4丁目電停から市電にて
西線14条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南14条西17丁目下車